



Title	シンポジウムⅠ: 諸外国における社会保障改革: 福祉レジームの新しいかたち
Citation	年報 公共政策学, 7, 3-3
Issue Date	2013-05-17
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/53337
Type	bulletin (other)
File Information	APPS7_002.pdf



[Instructions for use](#)

シンポジウムⅠ：

諸外国における社会保障改革

－福祉レジームの新しいかたち－

我が国においては、国民が安心で希望と誇りが持てる社会の実現を目指して、社会保障と税の一体改革が進められようとしている。この改革では、社会保障の機能の強化を図ることと併せて、その安定財源の確保が重要な課題となっている。社会経済情勢の変化に対応して、財源の見直しを含めた社会保障制度の改革を行うことは、他の先進諸国においても重要な政策課題となっており、様々な取組みが行われている。

このような状況を踏まえ、諸外国における改革について検討することを通じて、福祉レジームの新しいかたちを展望することを目的として、北海道大学公共政策大学院と科学研究費基盤研究（A）「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」（研究代表者 宮本太郎）との主催により、2012年11月17日に「諸外国における社会保障改革－福祉レジームの新しいかたち－」をテーマとするシンポジウムを開催した。

以下、このシンポジウムにおける報告及びパネルディスカッション（コメント・討議）の概要を掲載する。

・ 報告	P. 4
スウェーデン 宮本 太郎（北海道大学大学院法学研究科教授）	
イギリス 一圓 光彌（関西大学政策創造学部教授）	
フランス 加藤 智章（北海道大学大学院法学研究科教授）	
ドイツ 松本 勝明（北海道大学公共政策大学院教授）	
・ パネルディスカッション	P.26
コメント 土田 武史（早稲田大学商学部教授）	
討 議	

司会：佐藤 雅代（関西大学経済学部教授・HOPS 研究センター研究員）

（注）文中、カッコ内の■はパワーポイントの該当スライドの標題